

日本コラージュ療法学会

第12回大会 ワークショップのご案内

本大会のワークショップでは、コラージュ療法の基礎的理論をふまえたコラージュ体験やコラージュ作品のアセスメント方法、関連する技法の活用など、コラージュ療法への理解を深めるための講座を幅広く用意致しました。皆様の積極的なご参加をお待ち致しております。

I. 日 時： 2020年11月22日（日）10:00～12:30（受付開始 9:30）

II. 会 場： 神戸大学大学院人間発達環境学研究科(鶴甲第2キャンパス)
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11
JR六甲道駅または阪急六甲駅から神戸市バス36系統
「神大人間発達環境学研究科前」下車

III. 参加費用

（※下記は早期申込料金，9月22日以降の申込の場合1,000円プラス）

*会員	一般：5,000円	大学院生：3,000円
*非会員	一般：6,000円	大学院生：4,000円

IV. 概要・講師紹介

<定員>

ワークショップDは定員10名，ほかのコースは各コース定員30名です。

<持ち物>

特に制作実習のあるコースでは，指定された持ち物をご確認ください。

ワークショップA 「困った時にはコラージュ療法

—『切り貼り遊び』の意義を学ぶ—

講師：森谷 寛之（京都文教大学・名誉教授／京都コラージュ療法研究所）

心の悩みで「困った時には」，絵や写真を切って貼るだけの方法(Collage, コラージュ)が自己表現を促進し，改善に貢献できる。他方，セラピストにとっては，「無口な，夢も見ない，描画も苦手な人，遊具，箱庭など設備もない」など，「困ったあげく」最後に頼ることができるのが「コラージュ療法」です。また「困っていなくても」いろいろな技法と一緒に使うことも意味深いです。

1987年5月，筆者自身がまさに「困った時に」思いついた方法で，おかげでとても助けられました。身につけておけば，必ず役立つ方法です。その基本から講義したい。

【制作実習】切り抜いてもよい雑誌数冊，糊，はさみを持参して下さい。

参考図書

森谷寛之『コラージュ療法実践の手引き』（金剛出版，2012）

森谷寛之『臨床心理学への招待—無意識の理解から心の健康へ』（サイエンス社，2018）

（心理臨床実践の基本を理解するために、『臨床心理学への招待』も併せてご覧いただきたい。）

ワークショップ B 「コラージュ・バウムを用いた自己理解・他者理解」

講師：西村喜文・太田秀樹（西九州大学）

コラージュ制作は、その特徴である簡便性や年齢を問わず集団で実施できることなどから医療、教育現場等で幅広く行われている。筆者自身、小学校、中学校、高校と学級活動の中にコラージュ制作を取り入れ自己理解を深める取り組みを行っている。また大学においても授業の中でのコラージュ制作は、大学生の自己表現を促進し、制作者の内省を引き出すことも可能である。また、バウムテストは、描画法による人格検査の一種で臨床や教育現場でアセスメントの補助手段として活用されており、自我発達の指標としても用いられている。本講座では、コラージュ作品とバウムとの関係について理解するとともに、作品を通して自己理解や他者理解が深められたらと考えている。

【制作実習】切り抜いてもよい雑誌数冊、糊、ハサミ、2Bまたは4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。

ワークショップ C 「初心者にもやさしいコラージュのアセスメント」

山上 榮子（森脇神経内科）

コラージュ制作はさまざまな対人援助の現場で用いられていますが、作品をどう理解し、制作者の見立てにつながるようなアセスメントができるかについては、まだ確立されていません。そこで、本ワークショップでは、山上（2014）の開発したコラージュ・スコアリングカテゴリーを用いたアセスメントの方法を紹介します。具体的には、まず自分でコラージュを制作し、カテゴリー学習前後でアセスメントをし、その有効性を体験していただきます。さらに、事例のアセスメントから本法の実際的やり方を学び、参加者の今後のコラージュ療法に生かしていただきたいと思います。

【制作実習あり】のり、はさみ、他に、貼りたい素材があれば持参してください
参考図書 山上榮子「コラージュの見方・読み方」（ナカニシヤ出版，2014）

ワークショップ D 「コラージュによる認知物語療法ー自分で読み解くコラージュ表現ー」

講師：大前 玲子（阪神 WARA 心理教育研究所・大阪大学）

認知療法とイメージ表現療法の統合的アプローチとして考案した認知物語療法を用いて、コラージュ作品を自分で読み解くというデモ体験をします。これは、コラージュ作品を自己理解へ導くための一つの方法です。この方法の特徴は、従来のコラージュ療法に認知物語療法を付加することによって、クライアント自ら心理的課題に気づくことを促進することです。心理的課題に気づき、そのような過程を通してクライアント自身が自己理解へ導かれる方法なのです。当日は、コラージュ作品を制作し、その後、認知物語療法を導入することで、自分の作ったコラージュ作品から自分へのメッセージを受け取ることが期待できます。

【制作実習あり】切り抜いてもよい雑誌を2, 3冊とパンフレットなど、糊、はさみを持参のこと。持参の雑誌は参加者と共有することがあり得ることをご承知下さい。10名までのグループで実施します。

ワークショップ E 「マガジン・フォト・コラージュ (MPC) の体験と事例」

講師：今田雄三（鳴門教育大学）

マガジン・フォト・コラージュ (MPC) はアメリカのランドガーテンが提唱した、明確な枠組みと手順が設定された4つの課題に則ってコラージュ制作を行い、制作者の連想を引き出し、アセスメントやセラピーに活用するための技法です。MPCは我が国で普及しているコラージュ療法とはその着想や理論的背景、教示や制作法、解釈の原則などが大きく異なっており、実施に当たってはその点に十分留意する必要があります。本ワークショップでは小集団での課題を設定したコラージュ制作体験とシェアリング、MPCの作品の紹介と解釈などを通して、MPCという技法を体験的に理解することを目指します。

【制作実習あり】台紙と写真の切り抜きはこちらで用意いたします。糊とはさみ、筆記用具をご持参下さい。

V. 受講資格

ワークショップの参加には、原則として日本コラージュ療法学会会員であることが必要です。ただし、非学会員でも臨床心理士の有資格者、臨床心理学を学んでいる大学院生、心理臨床・医療・教育・福祉・産業・司法（矯正）領域等で対人援助職に従事されている方は参加可能です。

VI. ワークショップ参加の申し込み方法

< 申込み手続き >

同封の払込取扱票に必要事項を記入し、受講料の振込みを済ませてください。それから「ワークショップ・大会・懇親会申込書」(往復ハガキ)に必要事項を記入し第12回大会事務局にお送りください。受講料の振込みが確認できずと、予約申し込み完了とはなりませんのでご注意ください。

< 申込み締切日 >

早期申込締め切り：令和2年9月21日(月)まで(当日消印有効)

最終申し込み締め切り：令和2年11月11日(水)まで(当日消印有効)

※往復ハガキには往信・返信ともに切手をお貼りください

< 臨床心理士資格更新ポイントについて >

臨床心理士研修ポイントを申請するためには、本ワークショップとコラージュ療法学会第12回大会のそれぞれに参加申し込みが必要です。ワークショップと大会シンポジウムの両方へ参加された場合に研修ポイントを資格認定協会へ申請を予定しております(「日本臨床心理士資格認定協会が認める臨床心理学に関するワークショップまたは研修会」の分野に申請予定)。

< 受講料振込み先 >

ゆうちょ銀行

口座番号：00850-4-73295

加入者名：日本コラージュ療法学会大会準備委員会

< 第12回大会・ワークショップに関する連絡先 >

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科(鶴甲第2キャンパス)

伊藤俊樹研究室内

日本コラージュ療法学会第12回大会準備委員会

E-mail : collage.conference@gmail.com